

# Welcome to 五高 library

## The door to the books



令和5年度  
五島高校：図書委員会  
8月1日作成  
8月30日発行

図書委員制作担当	イラスト部制作担当
2-4	2-2
2-4	2-4
3-3	

こんにちは!図書委員会です。  
みなさん!もうすぐ体育祭・五高祭ですね!  
五高祭では、図書委員の出し物に注目してください。  
残暑の暑い日乗り越えて、本番は最高の思い出を作りましょう。  
頑張った後の休息に、涼しい所で読書はいかがですか?

**イチニツイテ**: 僕が愛したすべての君へ

著者: 己野四方字  
出版社: 早川書房

あなたは朝にパンを食べるか、ご飯を食べるか迷ったことはありませんか?  
パンを選んだとして、もしもご飯を食べていたら...と思うことはありませんか?  
そんな並行世界の話をもとにしたSFファンタジーです。  
世界を飛び越えて、いろいろな問題に立ち向かいながら進んでいくふたりの恋物語を楽しんでください。

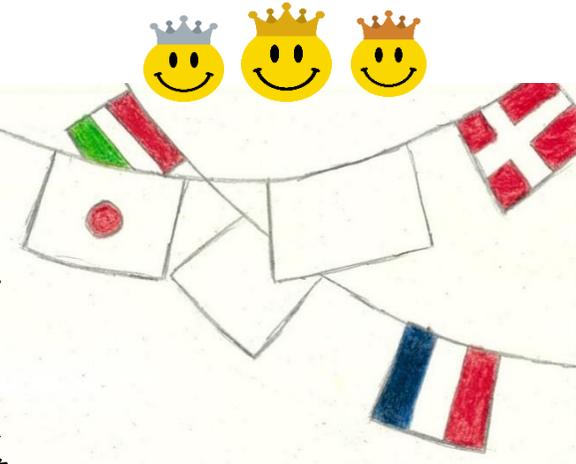
**ヨーイ**: 自転車少年記

著者: 竹内真  
出版社: 新潮社

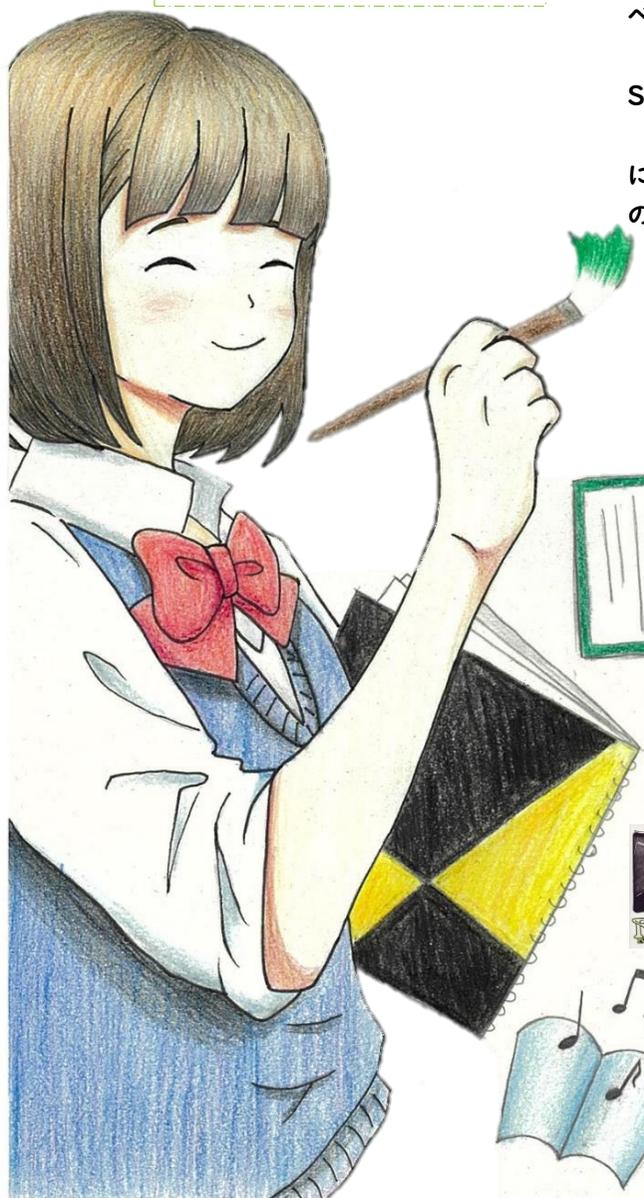
2017年自転車愛する主人公昇平と草太の二人の物語。  
自転車を通して友情を育んできた二人は高校生になって、自転車部を創立します。テーマは友情、恋愛、未来について、様々な経験を通して、成長していく姿が心に残ります。  
物語も登場人物もとてもさわやかな作品です。この本を読めば、きっと自転車に乗りたくなるでしょう。

**ドン**: 学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話  
著者: 坪田信貴

出版社: KADOKAWA  
一人の塾講師との出会いが、偏差値30の金髪ギャルとその家族の運命を変え、慶應義塾大学総合政策学部合格した実話です。  
「どうせ自分なんか」と思ったり、周囲の言葉をうのみにしたりする人は、この本を読めばモチベーションに繋がり、目の前のことに一生懸命打ち込めるきっかけになることでしょう。



**図書館統計のお知らせ**  
7月の貸出冊数は810冊です。  
昨年度は1407冊でした。  
7月昼休みと放課後の入館者数は252人でした。



### 音楽といっしょに読もう

**一曲**: アルジャーノンに花束を

著者: ダニエル・キイス 出版社: 早川書房  
クリフバートソンが映画化権を持つ小説で、いまだに映像化することは難しい作品なのですが、女性シンガーのヨルシカが小説の純粋な美しさと切なさを表現した「アルジャーノン」を新曲しました。



**二曲**: 親愛なるあなたへ

著者: カンザキオリ 出版社: 河出書房新社  
シンガーソングライターの著者は、小説のために自分自身で曲を書き下ろしています。  
小説家を目指す春樹。ミュージシャンを夢見る雪。そんなお話。

### 映画情報

**1点**: 怪物

著者: 佐野晶 出版社: 宝島社  
「怪物」とは一体だれなのか。その正体とは……!?  
話題の映画のノベライズをご覧ください。

図書館では、このような映画の情報(フライヤー)を掲示しています。  
また、フライヤーの配布もしています!



## 美しき星月夜に読みたい『宇宙』がテーマ

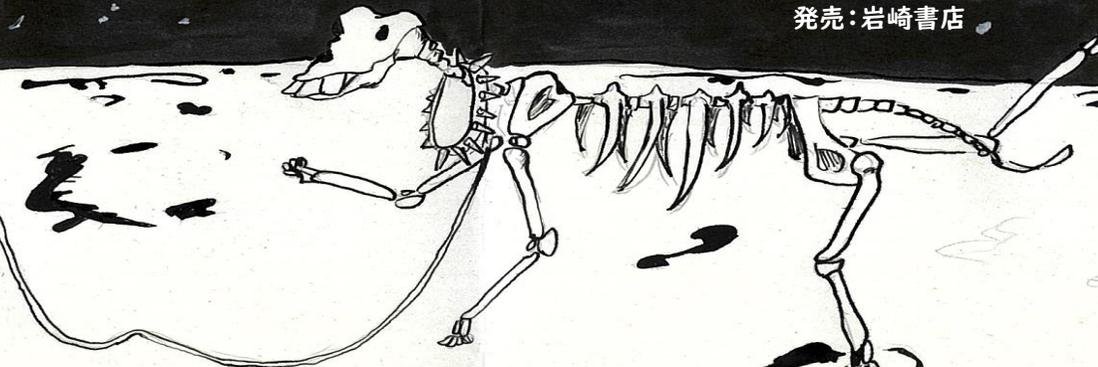
夏の天の川の方が、冬の天の川よりも星が多く見えるのは何故か、知っていますか？  
夏の地球は、太陽から見て銀河系の中心方向に位置してるので、夜は銀河系の中心方向が見えます。  
銀河系の外側方向より中心方向の方が星が密集してるので、夏の天の川の方が星が多く見えます。  
五島に住む私たちは、星を眺めたり、月を見て風情を楽しむ最高の場所です。  
今回、紹介している本は、星や月、惑星など宇宙について知ることができます。  
宇宙を探検してみませんか？

### ホーキング博士のスペース・アドベンチャーシリーズが楽しい

図書館には、天才宇宙物理学者ホーキング博士とその娘が書いた、宇宙冒険物語があります。  
少年ジョージの冒険物語を楽しく読みながら、宇宙の起源、太陽系、ブラックホールなどの宇宙物理学への知識が身につく、画期的な作品です。



発売：岩崎書店



題名：タイタンの妖女  
著者：カート・ヴォネガット  
訳：浅倉久志  
出版社：ハヤカワ文庫

高橋源一郎や村上春樹にも影響を与えるノーベル文学賞に最も近い作家カート・ヴォネガットのSF小説です。

ラムフォードは地球と火星にある不思議な時空間「時間等曲率漏斗」に飛び込んだ。地球とペテルギウスの間にある螺旋状の波動の存在になってしまいます。そして、彼は過去から未来までのすべてを見えるようになります。

この本では自由意志、全能、人類の歴史全体の目的といった問題を扱っている。こういった問題について、ラムフォードは小説を通して予言してくれるでしょう。

彼が嘘をついていない限りは、私たちの未来はこの本の通りの未来になるでしょう。



題名：神の目の小さな塵  
著者：ラリー・ニーヴン  
ジェリー・パーネル  
出版社：創元推理文庫

1000年後くらいの未来人類は科学技術の発達によって、銀河系内に版図を広げている。

ある時、人類のものではない宇宙船が近づいてきたのである。宇宙船は小さなもので、通信に応じないその宇宙船を捕獲することを命ぜられ、なんとか成功する。

しかし、中に乗っていた異星人が…。人類ははたして生きた異星人とのファーストコンタクトに成功するのか？

また、飛来してきた小さな宇宙船の目的は何だったのか？

この本は、いわゆる異星人とのファーストコンタクトを扱ったSFです。価値観の違いをどう乗り越えていくのか。



題名：宇宙の戦士  
著者：ロバート・A・ハインライン  
出版社：早川書房

裕福な家庭に生まれた主人公の少年ジョニーが、高校卒業後に両親の反対を押し切って軍隊（地球連邦軍宇宙陸軍）に入り、徹底的にしごかれて、一人前の機動歩兵になっていく過程を描いた作品。

特に、訓練キャンプ「アーサー・キューリー」での軍事訓練および宇宙生物との戦いを描いている。冷戦時代の真っ直中、ベトナムの情勢が戦争へ向けて大きく傾いていた時期に刊行されました。

暴力とは何か、軍事とは何かを考えさせる本です。



題名：月は無慈悲な夜の女王  
著者：ロバート・A・ハインライン  
出版社：早川書房

西暦2075年、月は犯罪者や政治犯の終身流刑地として植民地化され、流刑者やその子孫300万人が暮らす星となっていた。

その月世界では、一台のスーパーコンピューターが人類生存圏における必要な処理を担っている。

空気・水・温度・湿度・行政・銀行・交通などの生活都市システムから、地球との通信や貿易・交通用の輸送船射出機の弾道計算まで、全て。

そしてある日、マニーはそのマシンが自我を持っていることに気付く。